

2022年3月期
通期決算説明会

アステリア株式会社
(東証プライム:3853)

2022年5月12日



アステリアの主力事業

企業向けソフトウェア開発・販売
受託開発を一切行わず製品開発のみ
コア拠点：日本（東京）

ソフトウェア事業

デザイン事業

2017年のThis Place買収で
開始したデザイン戦略コンサル
コア拠点：英国（ロンドン）

2つの事業は
ソフトウェア事業の
成長を支える事業

企業投資事業

2019年に本体から独立させ
開始した「4D」企業投資
コア拠点：米国（プレイノ）

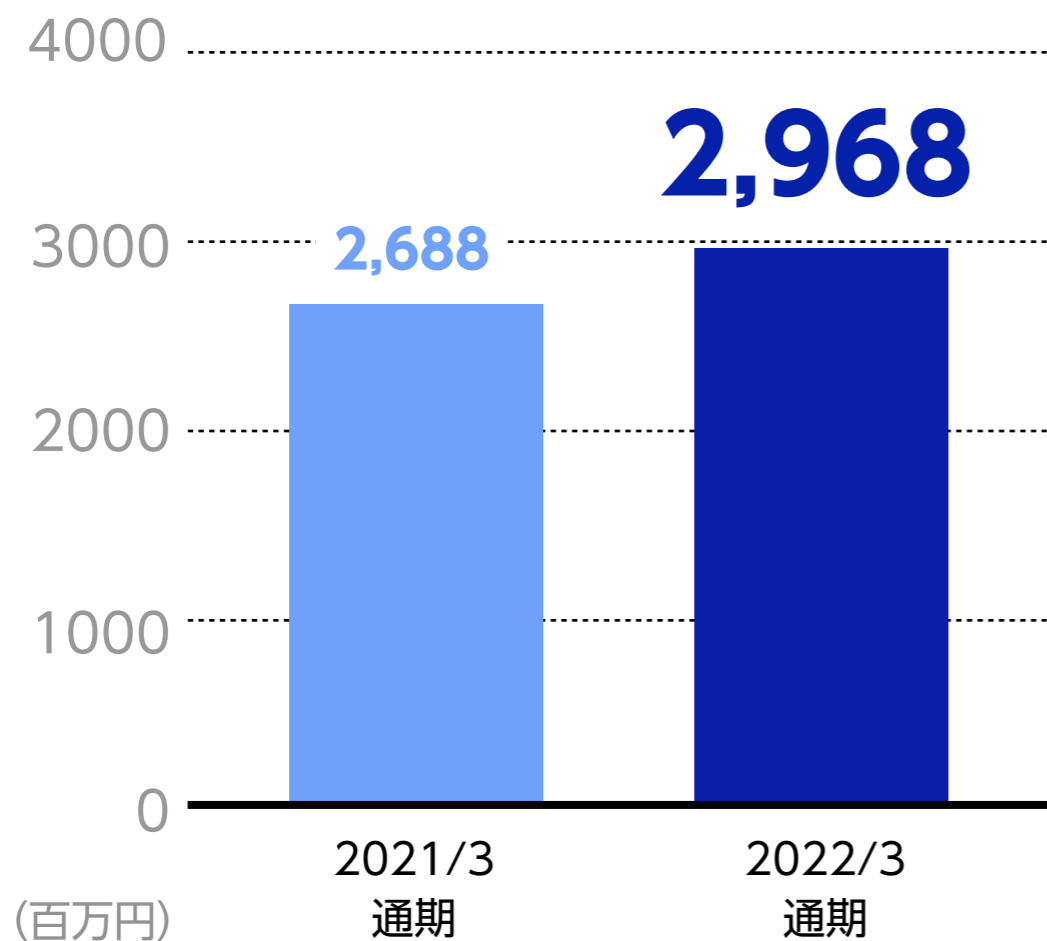
決算概要

2022年3月期 **通期決算**
(国際会計基準 = IFRS)

売上：増収 デザイン事業減収もソフトウェア事業が好調
利益：最高益更新 ソフトウェア事業に加え企業投資事業が好調

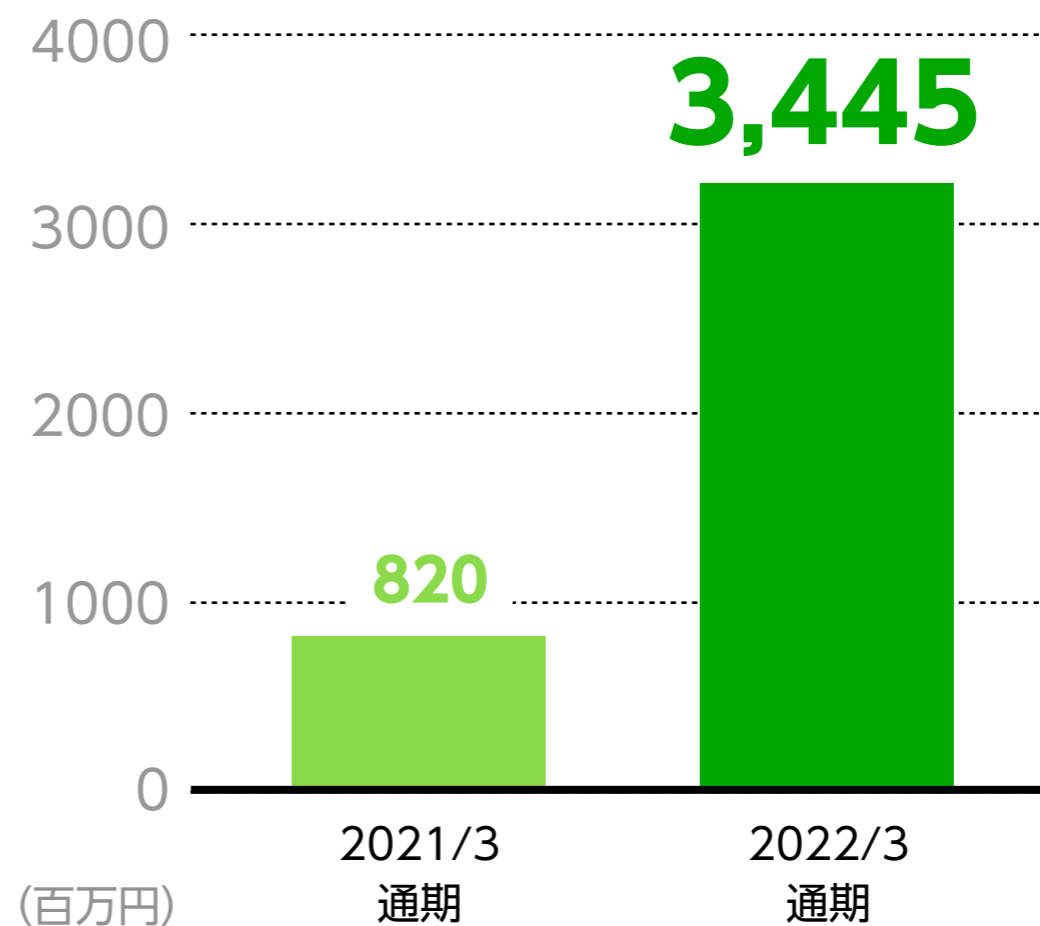
売上収益

10.4%増 (前期比)



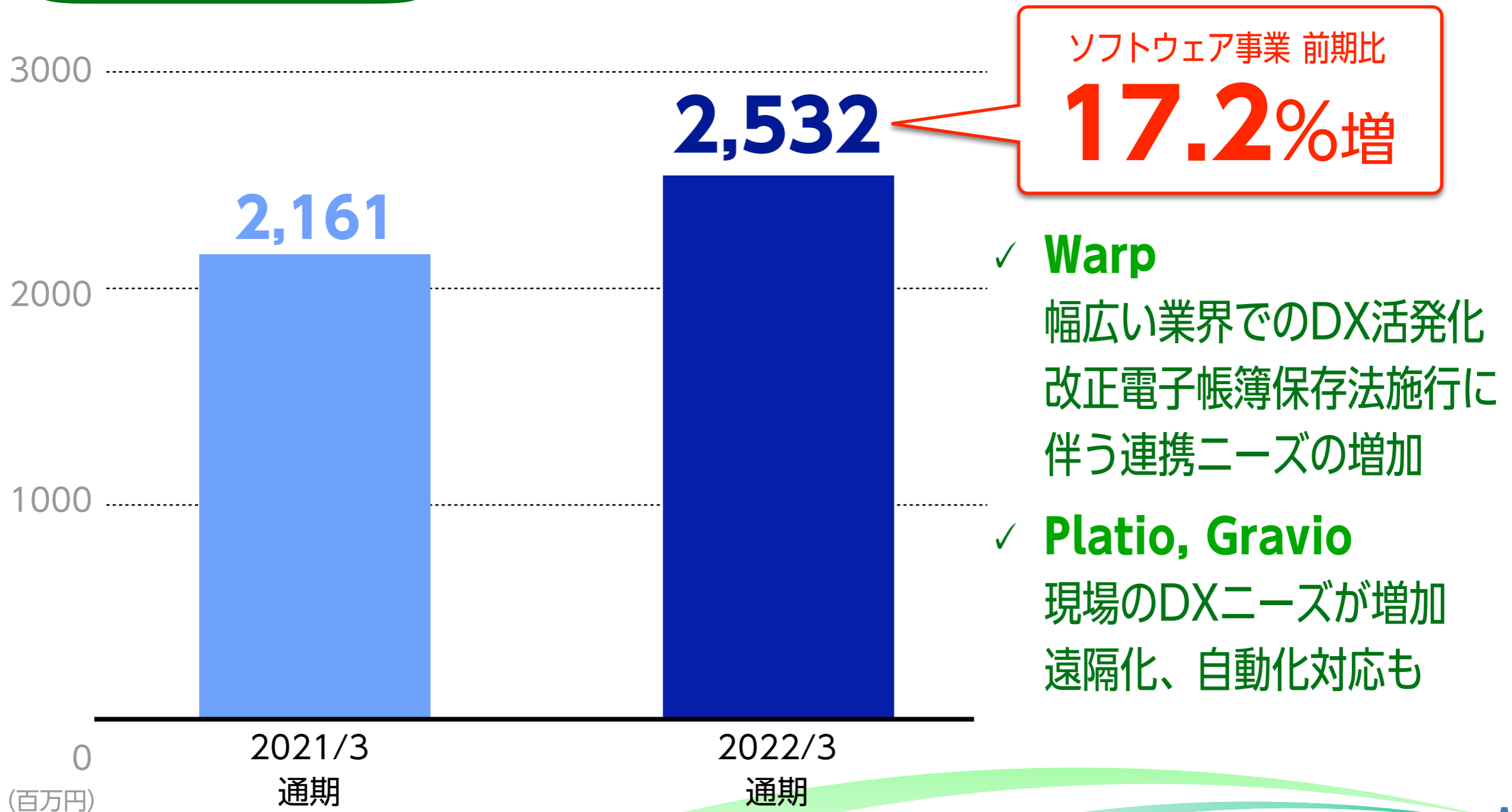
営業利益

320.3%増 (前期比)



売上(トップライン) 好調の要因

ソフトウェア事業 の3製品が大きな伸びを記録



利益大幅増（最高益更新）の要因

企業投資事業

で通期合計4,015百万円の評価益を計上

- ✓ 出資先のうち4社において評価額の変更*が発生
- ✓ 他に、為替差益、アーンアウト戻し益等（金融収支の内数）



★NASDAQへのSPAC上場をファイル中

↑ 評価額増加

台湾

日本



JPYC



評価額増加

アメリカ

Workspot.



評価額増加

imagine
INTELLIGENT MATERIALS



評価額減少(全額)

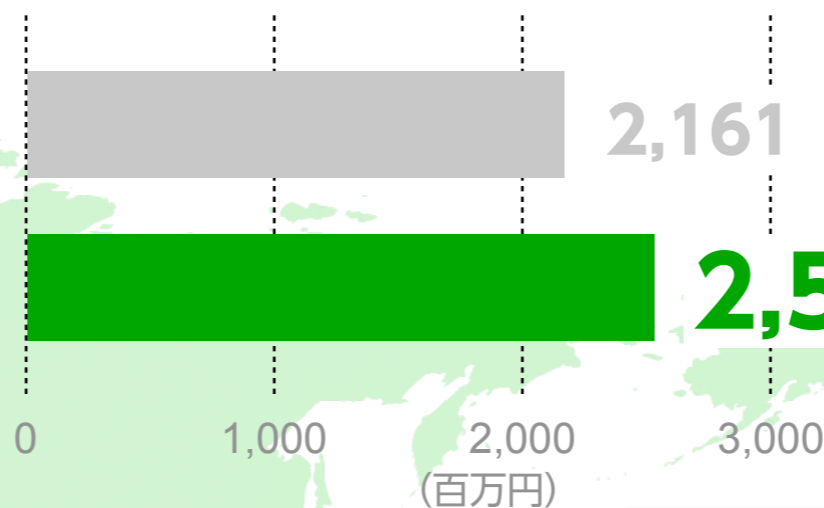
オーストラリア

※全てAsteria Vision Fund-Iからの出資、AVF-Iの出資はIFRSの規定に従い、FVTPLにて評価差額を利益計上

各事業の通期業績

ソフトウェア事業

ソフトウェア事業セグメント

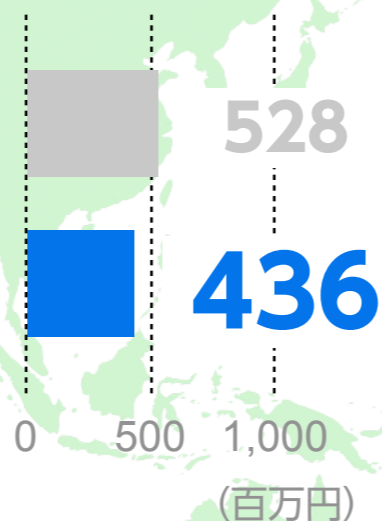


前期比
117.2%

要因：Warpが絶好調
サブスクも順調

デザイン事業

投資事業セグメント



前期比
82.5%

要因：海外のコロナ禍による
顧客ダメージが影響
北米で新規顧客獲得強化

企業投資事業

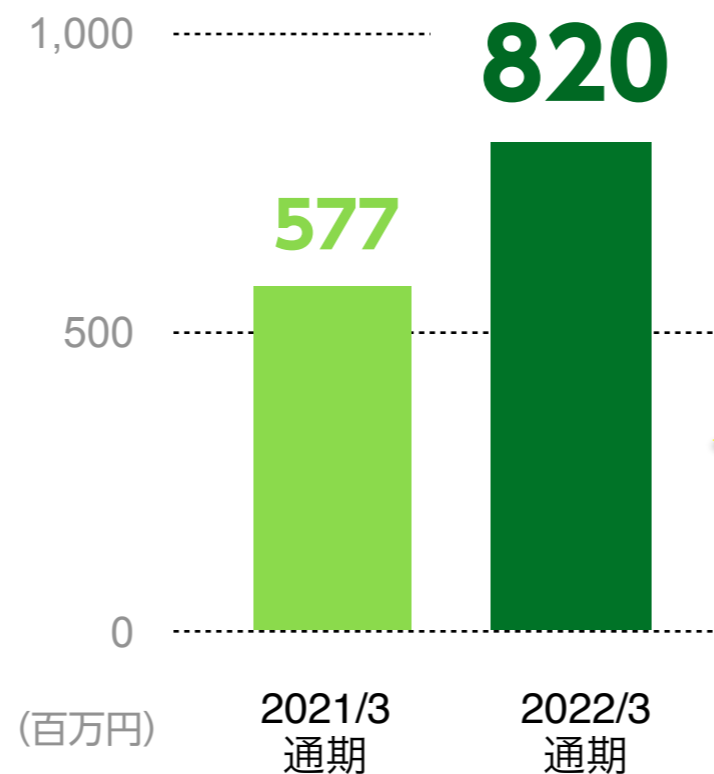
- ◆ Gorilla社、JPYC社などで評価増
- ◆ 合計4,015百万円の評価益を計上

ソフトウェア事業



Asteria[☆]
Warp

Asteria[☆]



ライセンス販売が絶好調

42%増
(前期比)

Warp

- ✓ Warpビジネス過去最高売上 **約22億円** を記録
- ✓ サブスク版も **3割超増**
- ✓ サポート初の **10億円突破**

ソフトウェア事業



Handbook[®] X



Platio



Gravio

Handbook

- ✓ 新製品「Handbook X」発表！

Platio

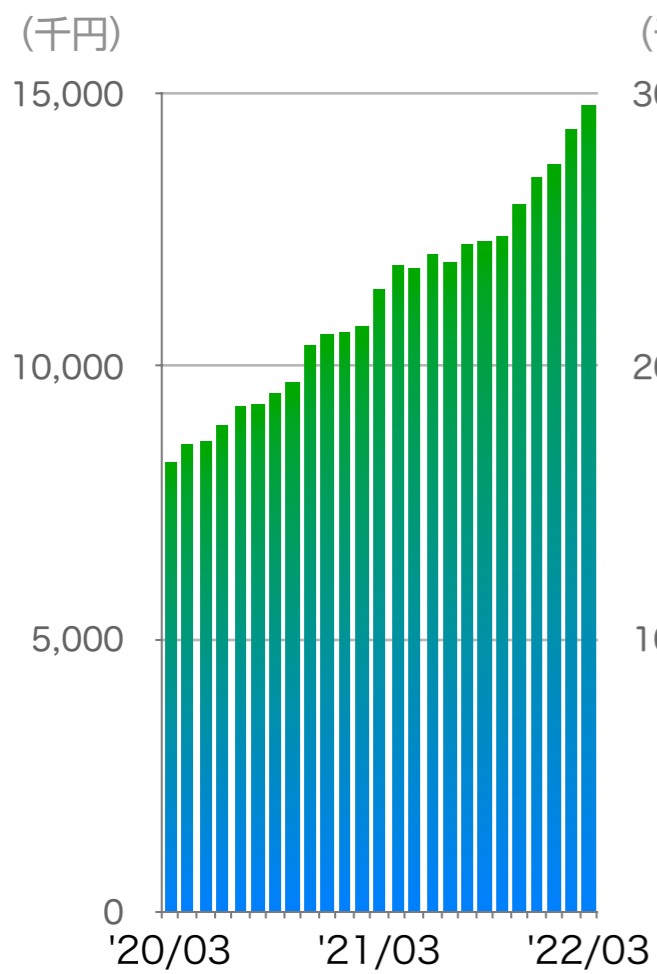
- ✓ 新CM等プロモーション積極展開
- ✓ 幅広い業界から引き合い好調

Gravio

- ✓ パートナー協業でビジネス拡大
- ✓ 新しい働き方や新常態への対応

ソフトウェア事業

MRRの推移と解約率(R.チャーン)



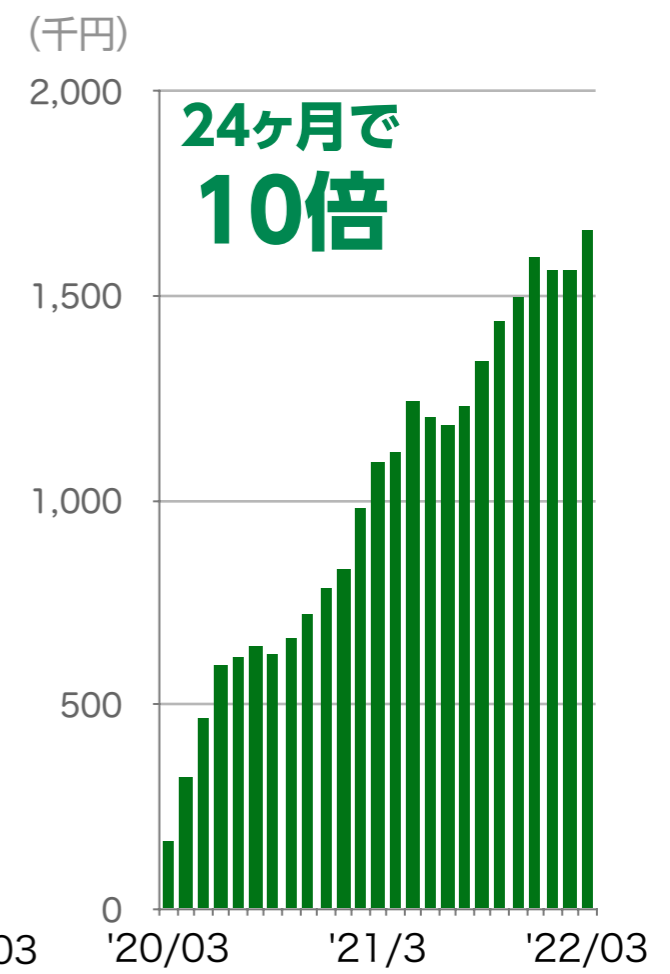
R.チャーン:1.3%



R.チャーン: 1.0%



R.チャーン: 0.6%



R.チャーン: 0.02%

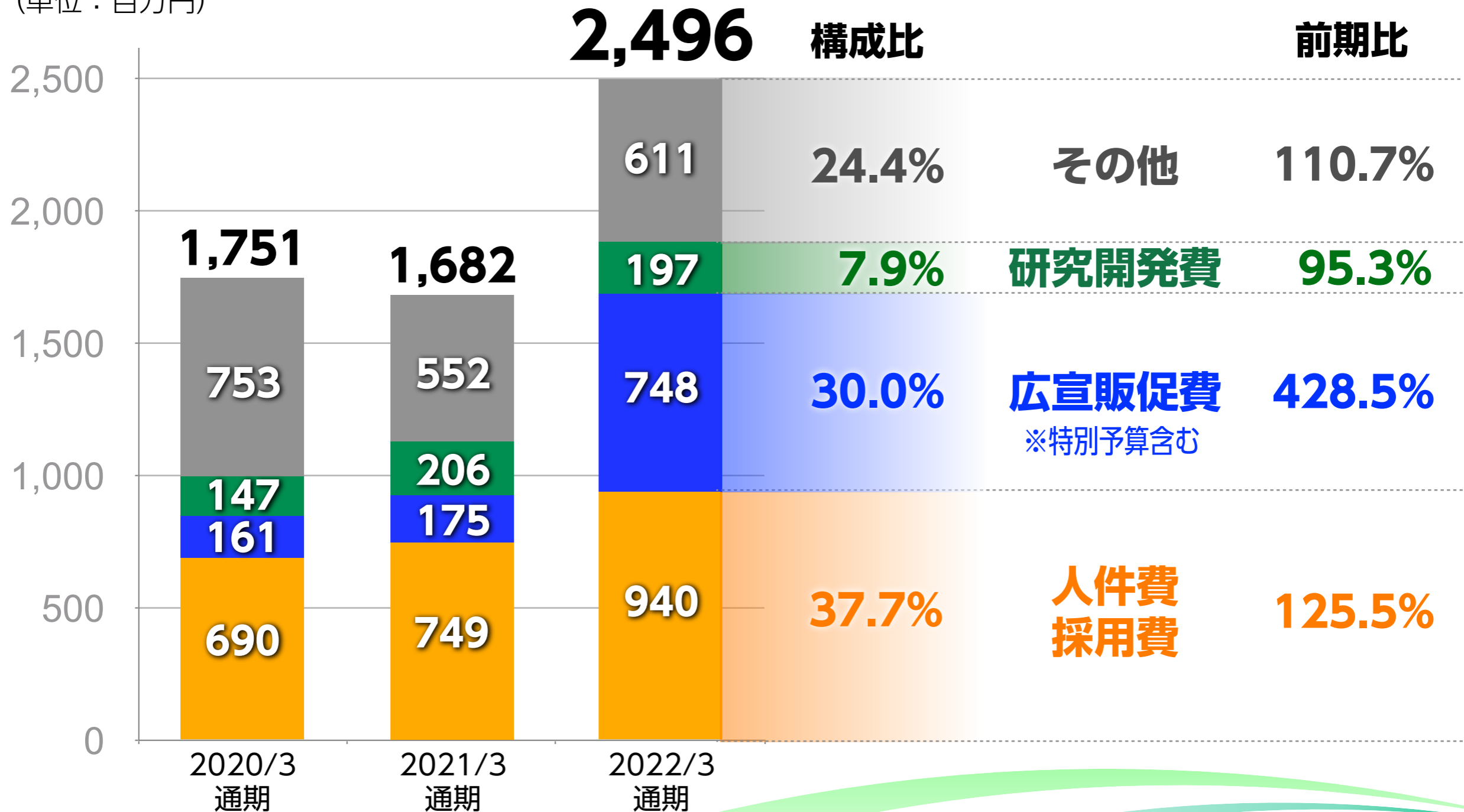
※R.チャーン:月間売上総解約率(第4四半期平均)
 ※Handbook X のチャーンレートはHandbook、Handbook Xの合計

当社史上最大販促

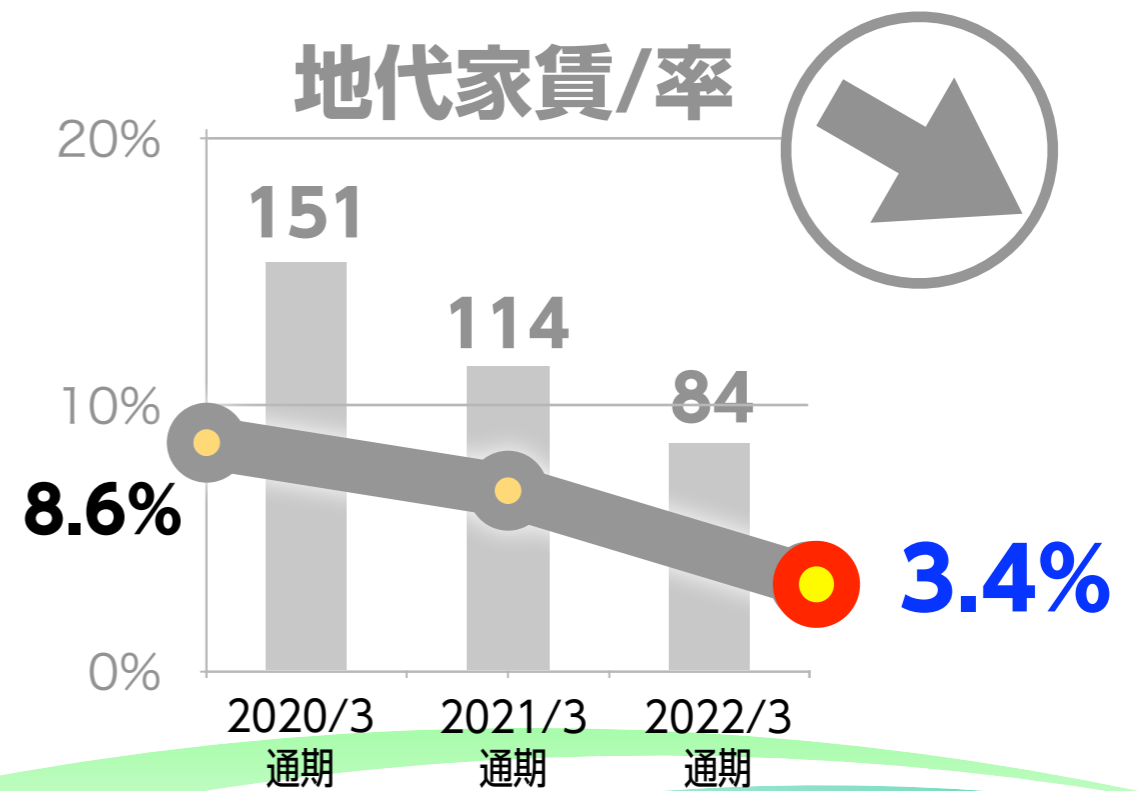
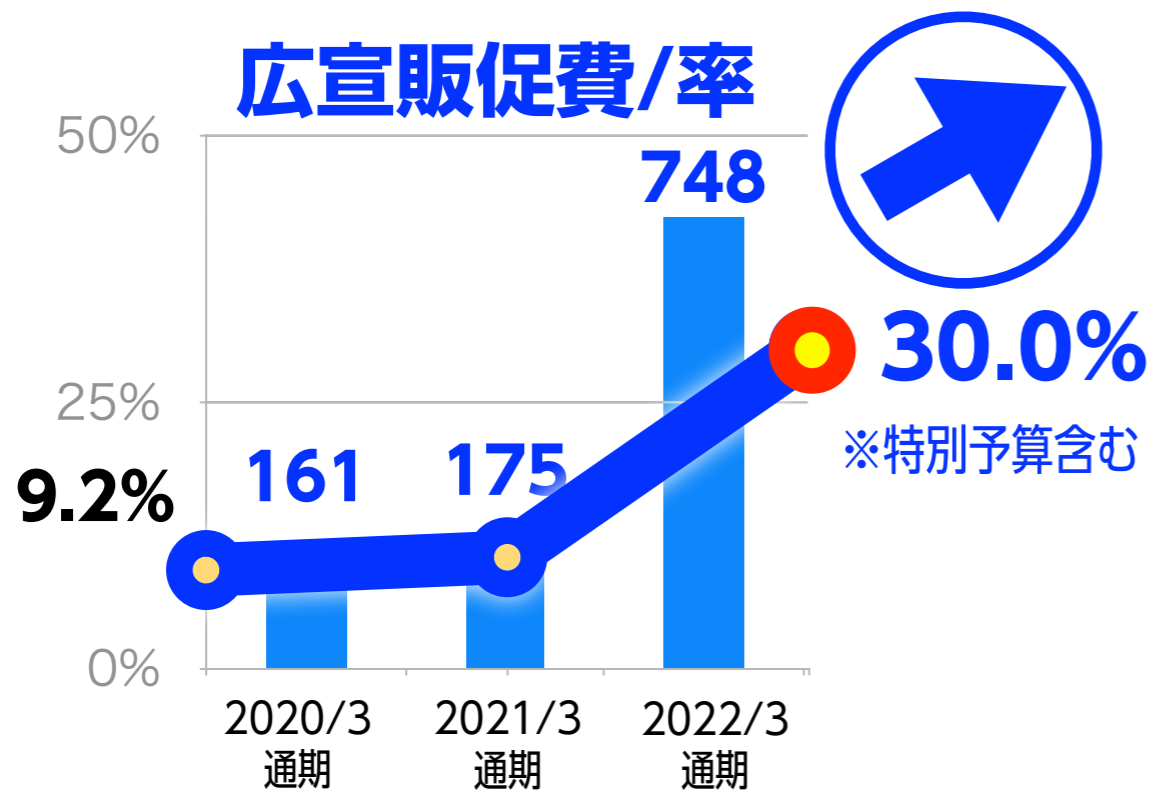
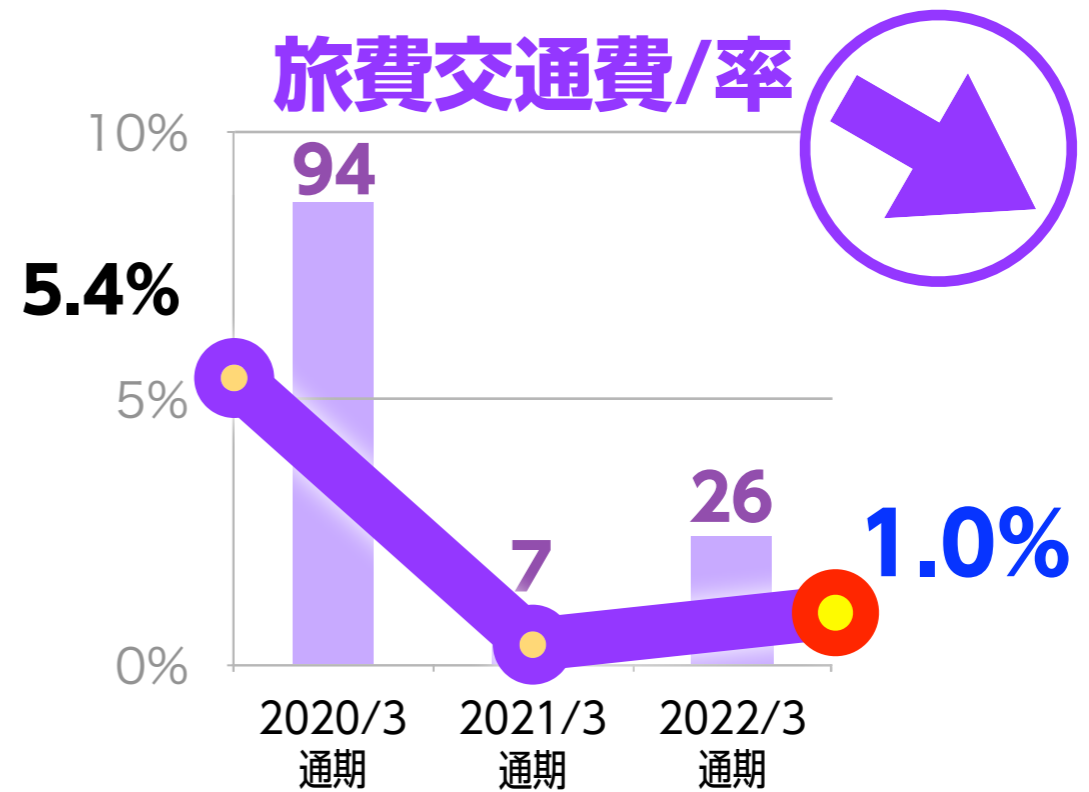
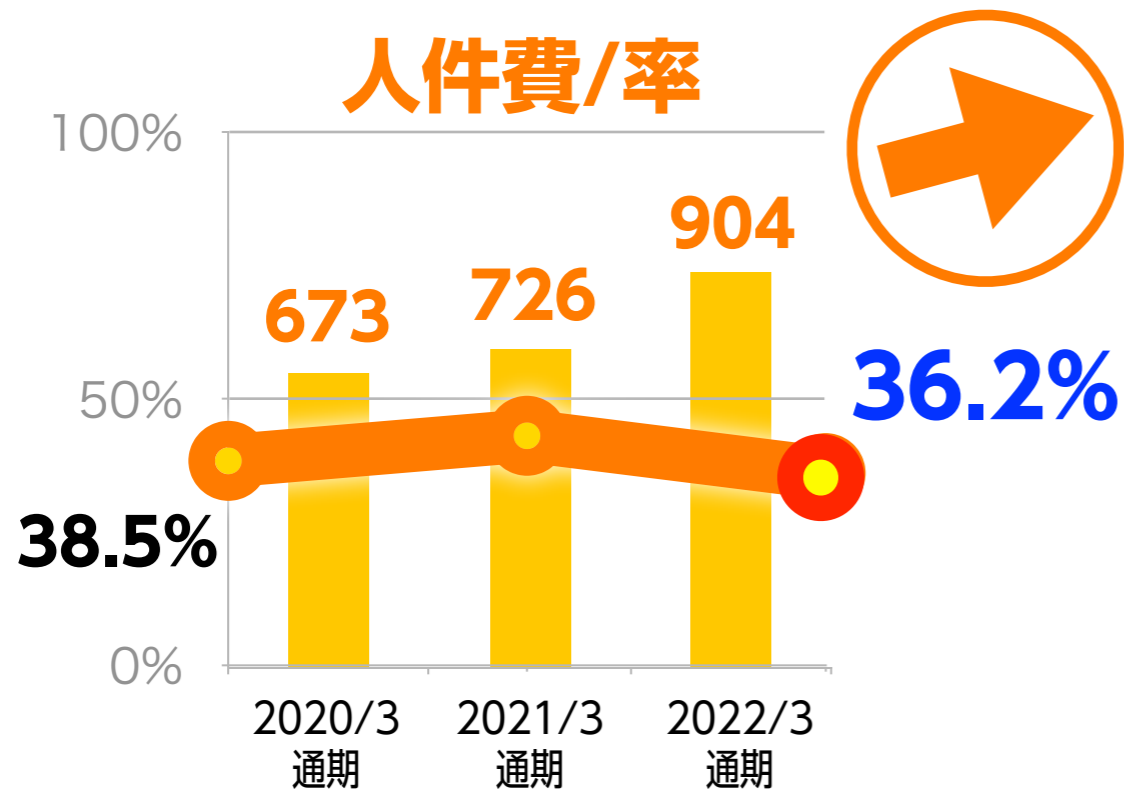
販売管理費の推移と内訳

- ✓ 「中期経営計画STAR」に基づき、「人件費+募集採用費」および「広宣販促費」への先行投資が計画通りに推移。

(単位：百万円)

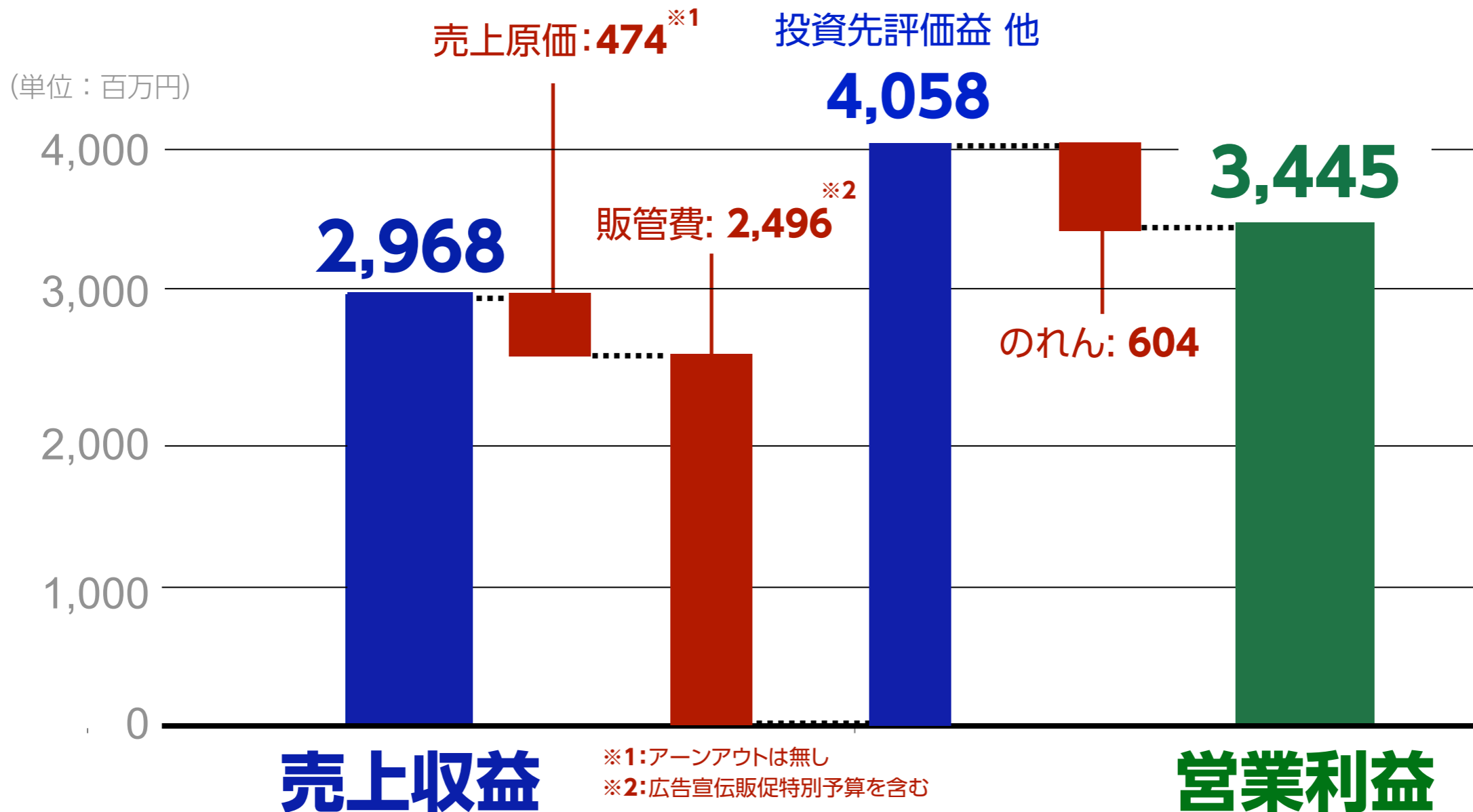


販売管理費の変化/構成比の推移 (3カ年比較・単位：百万円)



売上収益から営業利益までの内訳

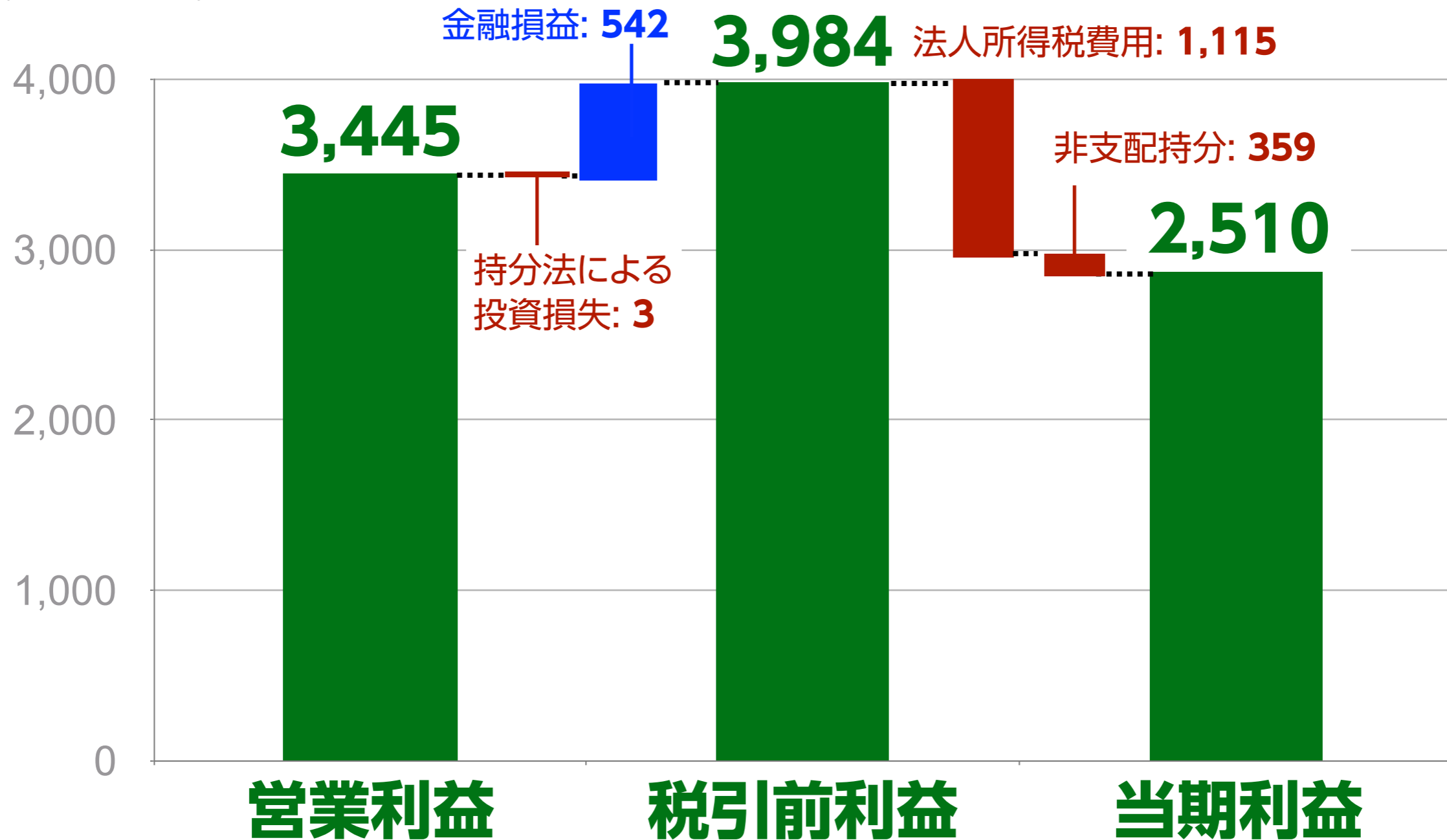
- ✓ 「中期経営計画STAR」に基づいた先行投資により「販管費」が増加した一方で、「その他収益/費用」(主にGorilla社株式の評価益)の増加により営業利益が増加。



営業利益/税引前利益/当期利益 (親会社の所有者に帰属する)

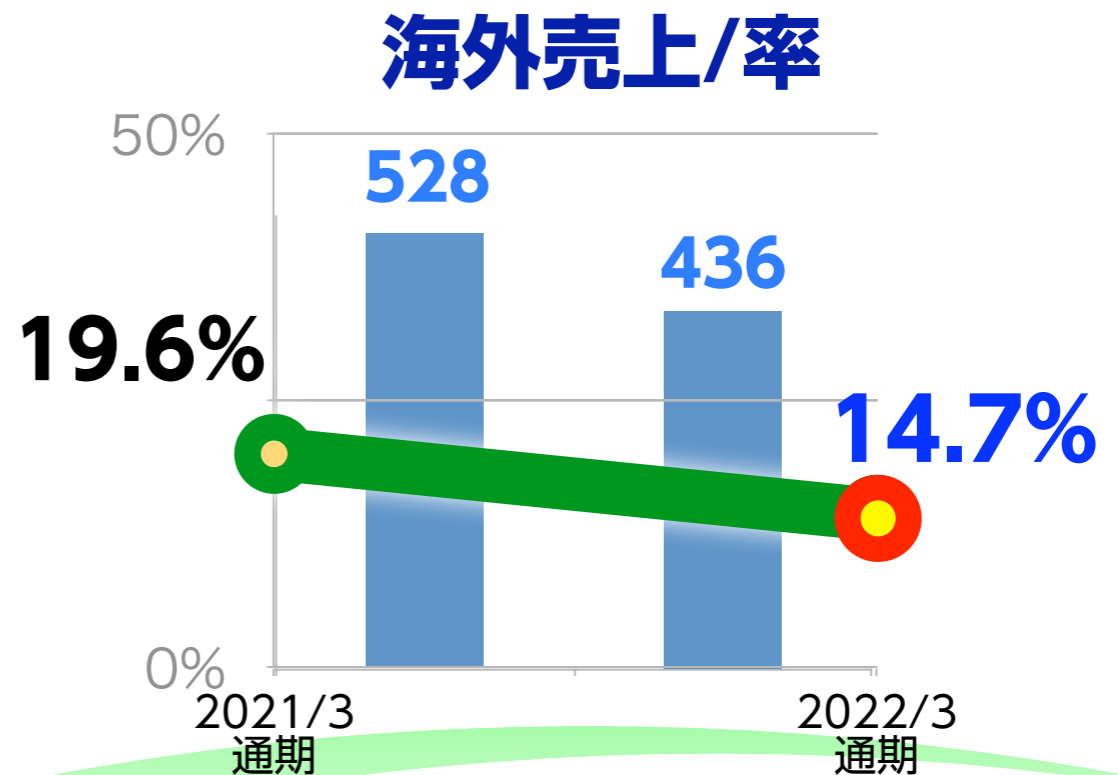
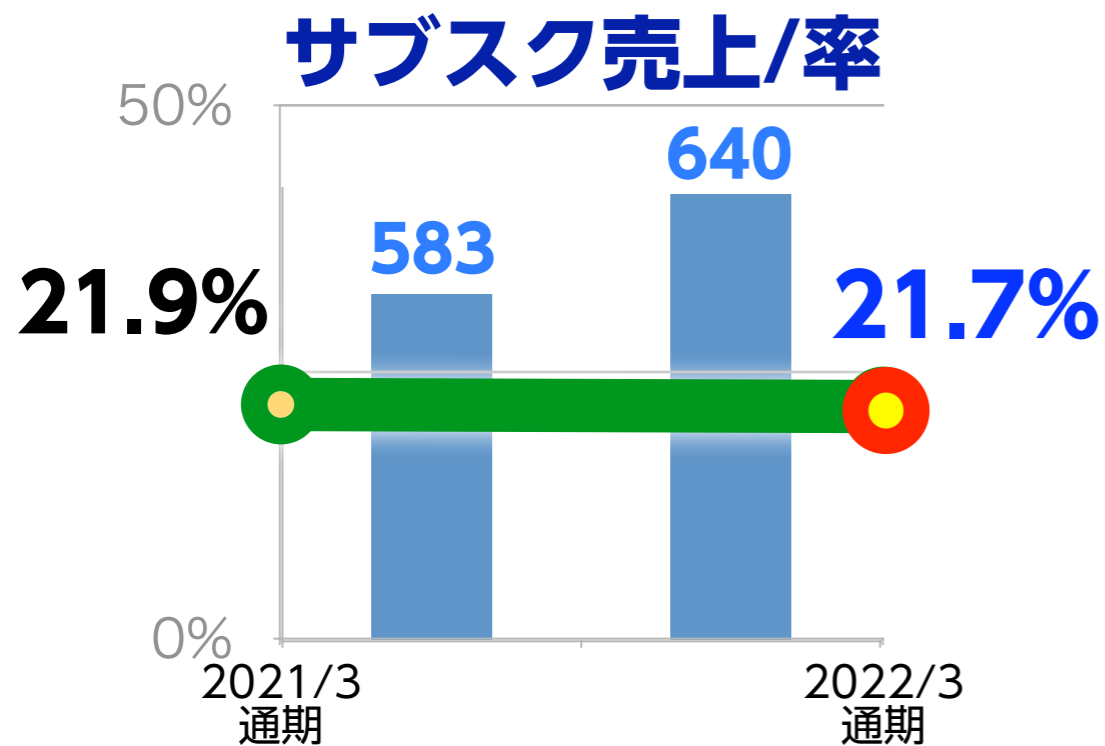
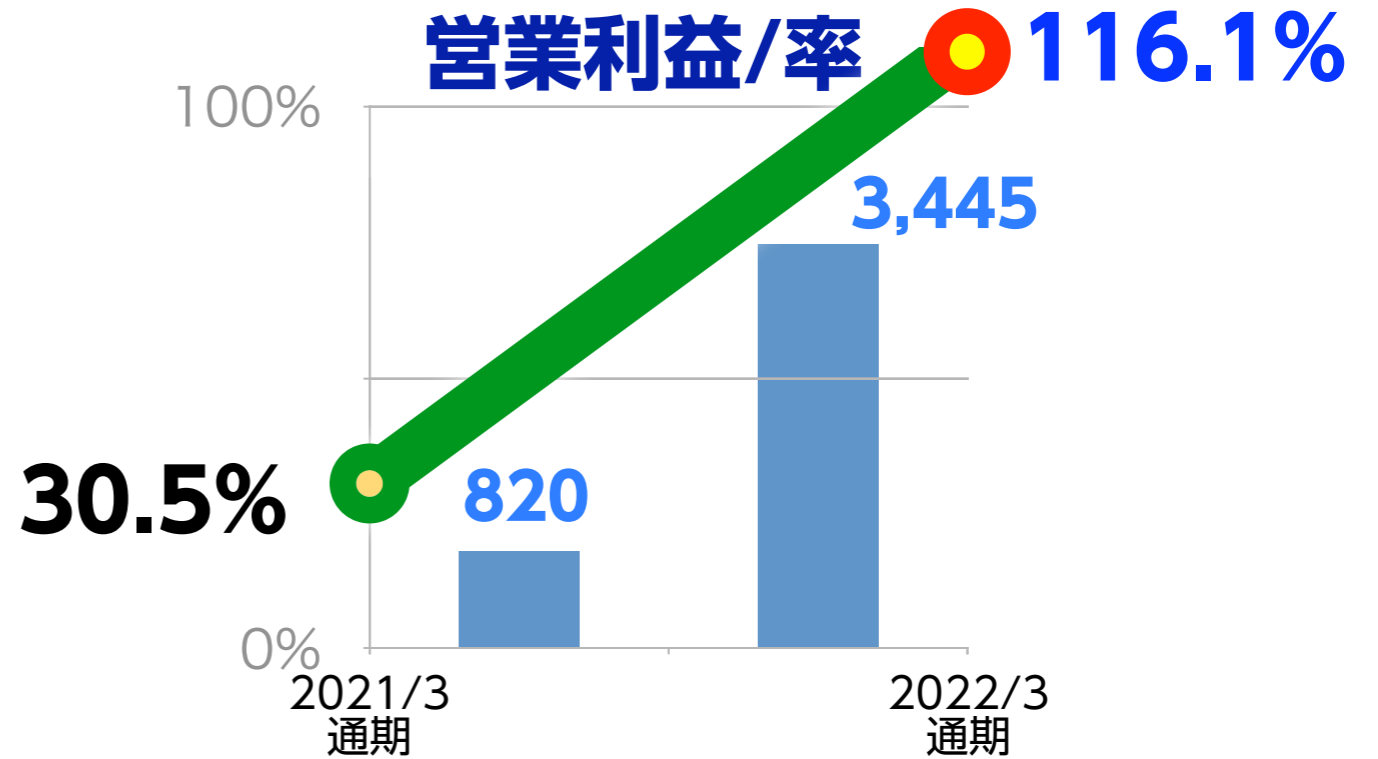
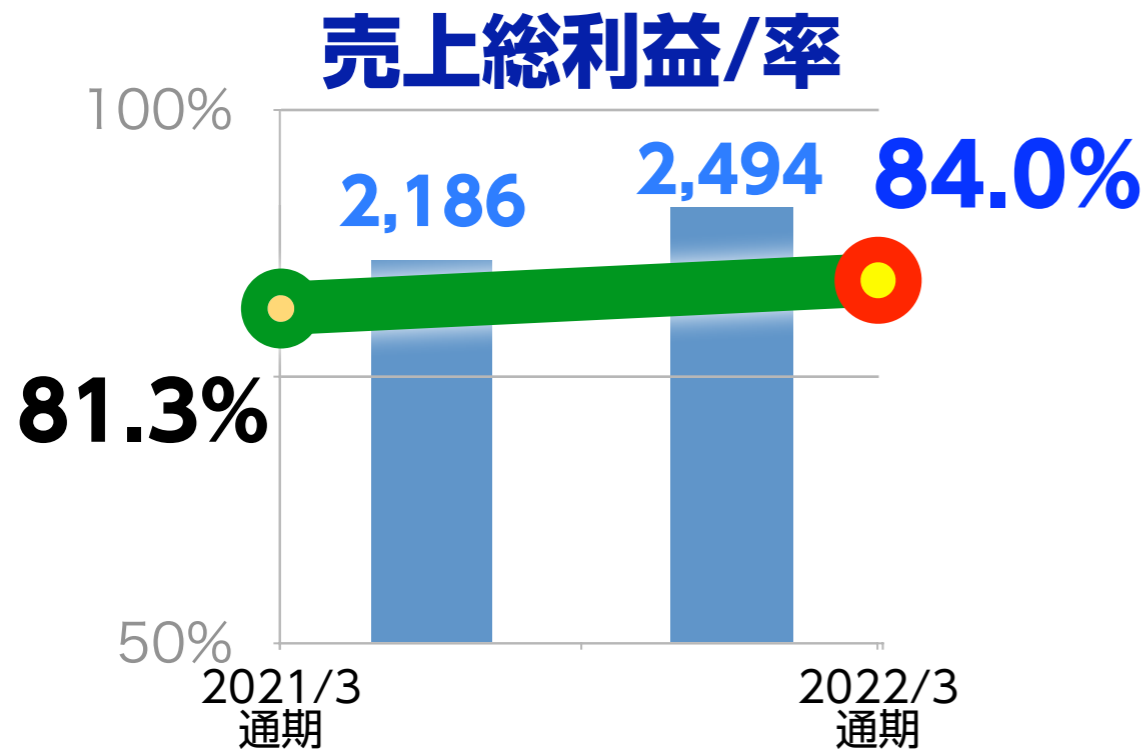
✓ 金融損益には、為替差益とアーンアウトの戻し益を含む。

(単位：百万円)



(親会社の所有者に帰属する)

経営指標の推移 (前期比・単位：百万円)



財政状態計算書

		2021年 3月31日	2022年 3月31日	増減
資産の部	現預金等	2,451	1,816	▲635
	営業債権	256	392	135
	その他流動資産	80	235	155
	有形固定資産	181	503	322
	のれん	1,015	450	▲565
	無形資産	69	94	25
	投資等その他	3,855	9,105	5,250
	資産合計	7,907	12,595	4,687
負債の部	借入金	243	243	0
	営業債務	182	530	348
	未払法人所得税等	99	0	▲99
	その他流動負債	689	700	11
	長期借入金	643	500	▲143
	その他非流動負債	330	1,640	1,310
負債合計	2,186	3,613	1,427	
資本の部	株主資本	5,682	8,098	2,416
	その他資本の構成要素	▲138	259	397
	非支配持分	178	625	447
	資本合計	5,721	8,981	3,260

(単位：百万円)

■現預金等

1,816 百万円

■自己資本比率

71.3%

積極的な投資に耐えうる
極めて健全な財務体質

キャッシュ・フロー計算書

✓ 投資が進行するも潤沢な現預金等約**18億円**を有する。

(単位:百万円)	2021年3月期 通期	2022年3月期 通期
営業活動による キャッシュ・フロー	776	58
投資活動による キャッシュ・フロー	▲599	▲499
財務活動による キャッシュ・フロー	▲358	▲225
現金及び現金同等物の 期末残高	2,451	1,816

期末配当

✓ 2022年3月に発表した予想と同額

	配当金額
前年度実績	4.50円/株
2022年3月発表 (予想)	4.50円/株
今回確定	4.50円/株

Asteria[◆]

2022年3月期 通期決算説明会

お問い合わせは:03-5718-1655



LINEによるIRニュース

本説明会及び説明資料に含まれる将来の見通しに関する部分は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、さまざまな要因の変化等により、これらの見通しと異なる場合がありますことをご承知おきください。

(証券コード：3853)